

## 千葉県沿岸における藻場のデータベース化

石井光廣（千葉県水産総合研究センター）

山北剛久・仲岡雅裕（千葉大学大学院自然科学研究科）

近藤昭彦（千葉大学環境リモートセンシング研究センター）

### はじめに

アマモ場は静穏な砂泥底に分布する海草の藻場で、魚介類の産卵場・保育場、水質浄化など沿岸生態系で重要な役割を果たしている。

東京湾などの内湾域では、開発や水質汚染による分布面積の減少が問題となっており、最近造成の取り組みも盛んにおこなわれ始めている。

保全・再生には、アマモ場分布を時空間的に把握することが重要であるが、アマモ場の分布情報は同一機関による統一された調査結果は少なく、さまざまな機関による単発的な調査結果が多く存在するので、統合することによってより重要なデータとなる。

そこで、千葉県における既存のアマモ場分布の全データを GIS により統合して DB 化し、その一部については WWW による公開方法を検討した。

### 方法と結果



### 期待される成果

- ▶ 県内のアマモ場造成適地の選定・造成計画の検討
- ▶ 長期環境変動のモニタリングツール
- ▶ 沿岸開発計画に対する影響評価資料としての利用
- ▶ 沿岸生態系の生産性の評価、水産資源管理計画への利用
- ▶ 沿岸水質管理の基礎資料、環境問題の提起・環境教育

### 今後の展望・計画

- ▶ アマモ場以外への適用（干潟、アラメ／カジメ林・ガラモ場、漁礁・養殖施設）
- ▶ 他県への適用（全国レベルでの沿岸ネットワーク作り）